

中村じゅんや 議員だより

連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

＜TEL＞ 055-997-1336

＜E-Mail＞ junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

＜FAX＞ 055-997-5745

＜URL＞ <https://www.jn-susono-web.com>



市内各地で求められている対話。いろいろな考えをしっかりと伝えていきましょう。

【全国規模の騒ぎとなった二つの事件の今】

①昨年9月に発生した裾野市民文化センタースプリングラーの誤放水事案について設置した事故調査委員会は、6月27日に原因は特定できなかったと報告。建物設置者としては瑕疵の所在とは別に施設の早期再開も視野にいれ、補償について協議の意向を示しました。現時点補償財源は市の一般財源となります。補償の範囲と内容は議会として監視して行くことになります。

②同年11月に発覚した市内私立保育園の虐待事案の原因調査と再発防止策の報告は、事業者からの申し出により7月末となりました。この間毎月の運営状況報告により不適切な保育に対する監視を強化しているとのこと。一つの園に留めることなく、市内全ての園の安心確保に注力するよう要求しています。

【学校施設再編説明会での対話に真摯に対応するよう市長に要望】

③市が公表した計画に基づき、向田小学校の東小学校への統合に向けた児童交流など準備がスタート。一方、同じ計画で統合時期が明記された富岡第二小学校区では、登下校の不安解消のための手段の確約は当然のことながら、複式学級制度や小規模特任校、小中一貫校といった統合回避の可能性について、地域内で共有の為、話し合いの準備が進められています。



↑ ③ ↓ ④



【市民から必要とされる議会へ：区長連合会に報告】

④議員定数や報酬のあり方を含め、市民に開かれた議会、必要とされる議員となるべく努力するよう要望頂いた事に対し議会として「あり方検討特別委員会」を立ち上げ対応することを報告しました。

6月定例会議案、その他報告事項の抜粋

■保育園等の給食費を一部無償化

「物価高騰による子育て世代の経済的負担の軽減」に、国の補助金を活用します（国100%）

→1,970万円

対象は、給食を提供している幼児施設の費用のみで弁当持参の家庭（幼稚園等）は対象外。

無償化の期間は9月～2月。国補助金の交付期限の関係です。3月分は市独自の財源を充てる

いう考えもできますが、あくまでも「国の補助金があるから無償化する」という考え方でした。

審査では補助の考え方が議論「なぜ給食と弁当で有料無料が別れるのか」「物価高騰分だけ軽減すれば弁当園も対象にできるのではないか」「期間終了時、返って負担感が増すのではないか」等。

国は学校給食の提供と無償化を議論していますが、幼児施設については、弁当や給食などあるため現時点では検討対象外となっています。保育園だけ一定期間、給食提供費用を無償化する効果について、しっかり検証することが必要となります。

■県ふじのくにフロンティア推進関連補助金活用

県補助事業（上限2,000万円：2/3）の活用開始。裾野市はフロンティア推進関連で2つの協議会に参画しています。三島市長泉町とは推進エリアとしてシェアサイクルや駅西公園整備を、御殿場市小山町とは循環共生圏として、水素ステーションや工業地での事業を選定しています。いかに広域で連携をとれる様な仕組みを構築できるかが焦点でしょう。財源としてだけ見るのではなく、効果を数倍出せる知恵が必要となります。

■民間事業者による市民課窓口業務は今年度迄。

市役所での待ち時間の短縮に努める中、市民課ではWebで受付事前予約したり、発券機実証で目的毎に受付順番を整理したり取り組んでいます。今回その発券機を本格購入し市民課で運用。こういった取り組みを庁内全体の窓口横展開すべく、来年度から、民間委託をやめ、職員が直接対応するそうです。

受付が自動でもサービス低下では、意味はなし。今のうちからよく観察してご意見くださいませ。

議会が取り組む委員会毎地区毎、個別で取り組む意見交換会の意見はどうしてる？

■まずは課題を整理、併せて解決策を検討中。

総務委員会では、市民協働やボランティア活動
厚生文教委員会では、地域医療や障がい者自立支援
産業建設水道委員会では、観光施策
について、意見をもとに市役所担当課と情報交換し
その上で、市でできることや国や県への要望などを
整理して、それぞれ具体的な解決策を研究します。

地区別では各地区区長会や民生委員児童委員協議会
と課題を共有し、慣例的な取り組みが本当に今も必
要なのか、コロナ禍で低下した住民の繋がりを如何
強めていくかなど多角的に検討していきます。

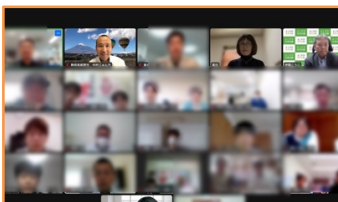
どの団体も社会変化に合わせて「変わらなければなら
ない時期に来ている」ことを感じているものの、
一歩踏み出すための動機付けが弱く、不安なよう
です。でも目指す所は同じ。他人事だと思ってい
らっしゃる皆さん、明日は我が身です。ぜひ当事者
と考え、地域活動への参画をお願いします。

■個人として収集する意見は、会派や連合同志、 関係議員と情報を共有し、市政提言として、 裾野市など関係機関に改善要望しています。

共有するのはなぜ？まどろっこしくない？

行政に伝えるだけなら市民誰もが持つ権利。住民の
代表である各議員と思いが共有できれば、一市民の
声を大多数の市民の声へと拡大できます。

課題解決に向け行政を動かすのが議員の役割。意見
交換会を通じてこのような動きが広まっています。
ぜひ議員を使い、その動きを観察して下さい。
伝えただけでは変わりませんから！



←全国各地で働く青年層
とWebで意見交換を
開催。

市内で働く方々と市政→
について意見交換。



各種活動のご紹介

●各種団体や地域イベントの活動も活発化

議長としてお招き頂き、挨拶させて頂く中で
活動の実態についても状況を伺っています。



●全国市議会議長会のついでに東京視察！？

「ふるさと回帰支援センター」有楽町
東京国際フォーラムでの全国市議会議長会終了後
近くに設置されているこのセンターを突撃視察させて頂きました。
全国から移住相談を受託している場で、ワンフロアーに全国市町村
の観光、暮らし、就労情報が集約されています。静岡ブースで話を
を聞かせて頂きました。首都圏からの移住希望先で静岡県は上位。
裾野の弱点は、PRの仕方だとか。希望者
は実生活をイメージできる情報が欲しい
らしく、日々の暮らしを写真でPRすると
興味が増すだろうと助言頂きました。
やはり情報発信力です。受け取る方のニ
ーズに合う発信をすることが必要ですね。



●各種広域組織でも積極的に提言しています。

- ・駿東勤労者福祉サービスセンター（福利厚生）
- ・御殿場線活用推進協議会（便数車両改善）
- ・静岡県地方議会議長研修会（移住施策）
- ・静岡縣市町振興協会理事会（宝くじ補助金）
- ・沼津三田地域協議会勤労者要望



●オフタイムは、草刈りで汗、竹灯ろう作りで交流



QRコードを
読み込むと、
ホームページ
が、ご覧頂け
ます。



ご意見、ご要望のほか、後援会入退会など、お気軽にご連絡くださいませ。